

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

4月を迎え新年度になり、火の魂カンパニーにも新入社員10名が入社してきました。私が創業時代から夢見る理想の会社を共に目指す仲間として、そして人生を共に豊かにする家族として火の魂カンパニーに受け入れました。飲食の経験も働いた経験も少ない新入社員ですが、私が責任を持って会社を背負える人財に成長させますので、どうぞ宜しくお願いします。

さて、今月の社長からの手紙は今考えていることを書き綴ってみたいと思う。

4月7日に緊急事態宣言がついに発表されました。人の命が関わることなので、火の魂カンパニーとしてもスタッフの健康管理と感染予防に努めながら、働く人の雇用を出来るだけ守り経営者として、火の魂カンパニーを何が何でも存続させるために、危機を必ず乗り越えます。とは言え、私一人の力は微力なもので、皆さんがいなければ何も守れない力不足の経営者ですが、この時期に寝る間も惜しんで、どうしたら生き残れるか？どうしたら出来るだけ多くの雇用を守ることが出来るのか？この危機を乗り越え本物の強い企業に成長できるのかを考え、幹部を中心に計画の指示を出しますので、働く皆さんにはどうか協力をお願いしたいです。

何のために経営をするのか？それは私の夢が社員とその家族と共に幸せになる事だからです。しかしながらなかなか簡単には理想の会社にならないもので、良かれと思ってやってみたけど、上手くいかないことで働く人に負担をかけることが非常に多く、もっと私に力があればと悔しく思うことだらけです。ただ創業してからの現在は過去最高の状態だと感じていると同時に、今回のような思いもよらぬ緊急事態で大きくスタート地点に戻される感覚でもあります。でも安心して下さい、私は何度も絶体絶命の経営の危機を乗り越えてきた自負があります。日本の企業の生存率は1年後40%、5年後15%、10年後6%、20年後0.3%……。火の魂カンパニーは創業から数えると15年になり、あと5年で0.3%なので1000社で3社生き残る年数にそろそろなります。その中でも度重なる危機を乗り越え、乗り越える度に良い会社に成長してきた自信があります。今回の緊急事態であろうとも、自粛が度重なるうとも、この大ピンチを成長の糧にすると捉え、コロナの問題が解決した時に、より豊かな会社になれるように、この機を社員教育の投資の時間にして、地域の皆様から必要とされ、働く人から必要とされる会社に私が責任を持って成長させていきます。

こんな緊急事態宣言が出された中でも、お店を滞ることなく営業してくださる皆さんに心から感謝して、その恩を火の魂カンパニーの明るい未来を作ることで皆様に報いていきます。くれぐれも、体調の管理、人命最優先ですから必要以上の無理をしないように心がけて下さい。

今期入社した新入社員に対しては、どうしても入社式を開催してあげたかったんですが、開催してあげられなくて本当に申し訳なく思います。いずれ必ず開催しますね。